

	2011年4月	2011年5月	2011年6月	最近の経済動向
世界	-G20財相世界経済回復広がり、中東・震災が不確定要因 -NY原油 8 日一時 110 ㊦、台中東 -世界パソコン出荷 1-3 月 3.2%減 -世界半導体売上 3 月 9%増	-G8 中東民主化支援、世界経済下振れ懸念、WTO 妥結へ全ての選択肢 -10 年末:世界人口 70 億人突破 -保護貿易措置 1,221 件倍増(10/10 月~11/4 月) -世界半導体売上高 4 月 4%増	-NY原油 9 日一時 101 ㊦	・中国、インド、NEIS/ASEAN 経済は内需・輸出で成長維持。米、欧は輸出、投資・生産増で回復傾向もやや減速。日本は震災、消費・輸出減で悪化。中東政変、大震災の影響、世界インフレが懸念材料
日本	-GDP1-3 月:3.5%減、消費 2.2%減、投資 3.5%減、輸 2.8% -財政・金融:長期金利一時 1.33% -株価:12 日 9,556 円台 13 日 9,608 円 -雇用:3 月:失業率 4.6%、横這い -所得:3 月:現金給与 0.4%減、勤労者世帯収入 4.1%減 -消費:3 月:消費支出 8.5%減、小売業販売 8.5%減、新車販売 35.1%減、薄型TV販売 10.1%減、 -受注:3 月:機械 4.1%増、工作機械 49.5%増 -生産:震災で液晶パネル生産不安、3 月:鉱工業 13.1%減、前月比 15.3%減、自動車 57%減、機械 18.8%減在庫増 -貿易:6 日円 85 円台、19 日 82 円台、3 月:輸出 2.2%減 16 ヶ月ぶりマイナス、輸入 11.9%増 -収益:1-3 月:純益:上場企業 32%減 6 四半期ぶり、営業益:ホンダ 38%減、キヤノン 8%減 800 億円、3 月期:純益:シャープ 4.4 倍 194 億円、富士通 41%減、リコー 30%減、オムロン 85%減、オムロン 7.6 倍、TDK3.3 倍、日本電産 1%増 523 億円、コマツ 4.5 倍 1,507 億円、日立建 2.8 倍、日本精工 3.9 倍、営業益:ホンダ 57%増 5,697 億円、ファナック 3.4 倍、 -投資:エルピーダ世界最大容量DRAM量産、東芝・パナソニック家庭用蓄電池投入、1-3 月:設備投資 3.3%増	-景気等:東電・東北電、企業・家庭 15%節電要請 -財政・金融:長期金利 7 日 1.14% -株価:2 日 1 万円台回復、25 日 9,436 円 -物価:薄型 TV 下落、4 月:パソコン前月比 15%下落、4 月:消費者 0.6%2 年 4 ヶ月ぶり+ -雇用:4 月:失業率 4.7%、1 ㊦悪化 -所得:4 月:勤労者世帯収入 4.3%減、現金給与 1.4%減 -消費:4 月:消費支出 3%減自粛、新車販売 47.3%減、 -受注:4 月:工作機械 32.3%増 -生産:ルネサス被災マイコン・自動車 40%、白物・AV20%、産機 25%に被害、4 月:鉱工業前月比 1%増、自動車 60%減 -貿易:4 月:輸出 12.5%減、輸入 8.9%増 -収益:3 月期:経常益:上場企業 55%増、営業益:ソニー 6.3 倍 1,998 億円、純益:三菱電 4 倍 1,250 億円、ダイキン 2%増、198 億円、HOYA45%増、日立 16%減、ホンダ 99%増 5340 億円、トヨタ 95%増 4,081 億円、スズキ 56%増 451 億円、クボタ 30%増、最終損:NEC100 億円、ルネサス 1,150 億円、 -投資:パナソニック処理速度 10 倍省電力次世代半導体(12 年実用化)、4 月:機械受注(民需)前月比 3.3%減、11 年:建機大手 3 社高水準、東芝設備・研究開発 3 兆円(11-13 年)	-GDP11年:0.9%減(OECD) -株価:6 日 9,411 円 -雇用:リコー 1 万人削減(3 年間) -所得:夏ボーナス 4.6%増、製造 5.7%増 -消費:5 月:新車販売 33.4%減、 -受注:5 月:工作機械 34.2%増、産業機械 8.1%増 -生産:鉱工業 14%減 -貿易:7 日一時 79 円台(欧米) -投資:11 年度:設備投資 15.5%増デジタル機器、復興需要、日立 1.77 兆円(10%増、10-12 年)、スズキ・プラグインHV 投入(13 年)	(前々月)・GDP1-3 月は 3.7%減、大震災の影響。企業業績前 3 月期は大幅増益、1-3 月大幅減益。株価は大幅下落で上下。輸出はマイナス。投資回復傾向。所得は低下傾向。失業率は高水準横這い。消費は自動車、TV 中心に大幅減少。生産も大幅減少。震災からの回復、雇用確保が最大課題。円高、供給不足による輸出の低迷が懸念(前・当月)・GDP1-3 月は、大震災の影響で 3.5%減。企業業績前 3 月期は大幅増益、1-3 月大幅減益。株価は低迷横這い。輸出は大幅マイナス。投資やや落込み。所得は低下傾向。失業率は高水準横這い。消費は自動車、TV 中心に大幅減少。生産も大幅減少。景気停滞気味。震災復興、雇用確保が最大課題。円高、供給不足による輸出の低迷が懸念
アジア・大洋州	-アジア:GDP11 年 7.8%、中国 9.6%、韓国 4.6%、台湾 4.8%、インド 8.2%、1-3 月:東南ア自動車販売 24%増 70 万台 -中国:0.25%利上げ貸出し年 6.3%へ、預金準備率 0.5%引き上げ 20.5%へ、外資企業に最低賃金引き上げ、BYD 車載電池量産、3 月:新車販売 5.4%増、消費者物価 5.4% 2 年 8 ヶ月ぶり、3 月期:レノボ純益 2.1 倍、1-3 月:GDP9.7%、固定資本 25%増、小売販売 16.3%増、対中直接投資 29.4%増 -台湾:0.125%利上げ年 1.75%、3 月:鉱工業生産 13.8%増、1-3 月:純益:エイサー 64%減、ホンハイ 20%減、UMC30%減 -韓国:サムスン・LG・SKリチウム電池事業拡大、3 月:消費者物価 4.7%、1-3 月:GDP 前期比年率 5.4%、営業益:主要 150 社 5.5%増、サムスン 30%減、現代自 46%増 -ASEAN:1-3 月:GDP 8.5%増 -インドネシア:3 月:自動車生産 25%増、消費者物価 6.7%、1-3 月:GDP 6.5%輸出投資、対内直接投資 27%増 5200 億円 -ベトナム:3 月:消費者物価 17.5% -タイ:0.25%引上げ 2.75%へ、3 月:自動車生産 14%増、輸出 31%増、消費者物価 3.1%、1-3 月:GDP 8% 輸出、消費 -インド:3 月:人口 12.1 億人、新車販売 28.7%増、第 12 次 5 ヵ年計画(12-17)GDP9~9.5%、3 月期:夕純益 3.6 倍	-中国:預金準備率 0.5%引上げ 21%へ、今夏電力不足最悪、4 月:輸出 30%増、輸入 21.8%増、消費者物価 5.3%、工業生産 13.4%増自動車、薄型 TV、新車販売 0.3%減 2 年 2 ヶ月ぶり、農村軽自動車補助金終了 -台湾:EMS利益率悪化、4 月:輸出 25%増、輸入 26%増、海外受注 10%増、鉱工業生産 6.9%増 -韓国:4 月:鉱工業生産前月比 1.5%減、15 年迄:サムスン太陽電池投資 1650 億円 -ASEAN6 カ国:4 月:新車販売 4%増部品調達難 -インドネシア:政策金利据置 6.75%、4 月:消費者物価 6.2%、自動車販売 7%減、14 年迄:インフラ整備に 15 兆円、発電所、鉄道 -ベトナム:4 月:消費者物価 20%増 -タイ:4 月:輸出 25%増、輸入 28%増、消費者物価 4%、新車販売 18%増、自動車生産 15%減 -シンガポール:1-3 月:GDP 8.3%増 -マレーシア:1-3 月:GDP 4.6%増、消費 6.6%増、4 月:新車販売 4%増 -インド:0.5%利上げ年 7.25%へ、1-3 月:GDP 7.8%、営業益 10%増、4-3 月:8.5%増、4 月:新車販売 13%増 26.8 万台	-中国:5 月:輸出 19.4%増、輸入 28.4%増、新車販売 4%減 2 ヶ月一 -台湾:5 月:輸出 9.5%増、輸入 19.3%増 -韓国:0.25%利上げ年 3.25%へ、サムスン有機ELライン増産、5 月:消費者物価 4.1% -フィリピン:5 月:消費者物価 4.5% -インドネシア:11 年:GDP 6.5%へ -インド:4 月:鉱工業生産 6.3%増低下、5 月:新車販売 9.8%増	(前々月)・中国は 1-3 月 GDP9.7%と投資・輸出を中心に好調維持。一方、インフレ傾向で引き締め。韓国、台湾は輸出・生産・投資高水準、企業業績は減速傾向。GDP は比較的高水準。シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンも内需、輸出好調で GDP 比較的高水準。インド経済好調持続。持続的成長が課題。ベトナム、インド、インドネシア、中国等でのインフレが懸念材料(前・今月)・中国は 1-3 月 GDP9.7%と投資・輸出を中心に好調維持。一方、インフレ傾向で引き締め。韓国、台湾は輸出・生産・投資やや減速、企業業績も減速傾向。GDP は比較的高水準。インド、シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンも内需、輸出好調で GDP 比較的高水準もやや減速傾向。持続的成長が課題。ベトナム、インド、インドネシア、中国等でのインフレが懸念材料

北米	<p>-GDP:1-3月:前期比年率1.8%増減速、消費2.7%、投資1.8%、輸出4.9%、政府支出5.2%減、住宅4.1%減</p> <p>-景気:経済活動は改善を続けている(FRB)</p> <p>-株価:19日1万2,463ドル、18日1万2,138ドル</p> <p>-雇用:3月:失業率8.8% 0.1ポイント低下2年ぶり低水準、非農業21万人増</p> <p>-物価:3月:消費者2.7%上昇、卸売5.8%上昇</p> <p>-消費:3月:消費支出前月比0.6%増、小売売上高前月比0.4%増9ヶ月+、卸売15.4%増、新車販売16.9%増、住宅着工13.4%減、</p> <p>-受注:3月:耐久財前月比2.5%増</p> <p>-生産:3月:鉱工業前月比0.8%増</p> <p>-貿易:3月:輸出前月比4.6%増、輸入4.9%増</p> <p>-収益:1-3月:最終益:主要500社18%増、純益:アップル95%増4,940億円、GE77%増2,800億円金融・製造業、IBM10%増28.6億ドル、マイクロソフト31%増52億ドル、TI1%増6.7億ドル、インテル29%増31.6億ドル、AMD98%増420億円、フォード22.4%増2,080億円、GM2,500億円黒、キャタピラー5.3倍1千億円、クライスラー95億円黒、</p>	<p>-財政・金融:FRB6月末量の緩和打ち切り、ゼロ金利維持、長期金利17日3.11%今年最低</p> <p>-政治:ペンタゴン容疑者殺害</p> <p>-株価:3日1万2,835ドル、25日1万2,368ドル</p> <p>-雇用:4月:失業率9.0%24.4万人増</p> <p>-物価:4月:消費者3.2%上昇</p> <p>-消費:4月:個人消費前月比0.4%増10ヶ月+、小売売上高7.6%増、卸売売上高14.4%増、新車販売17.9%増、住宅着工10.6%減、新築住宅販売23.1%減</p> <p>-受注:4月:耐久財9.2%増、</p> <p>-生産:4月:鉱工業前月比横這い</p> <p>-貿易:4月:輸出前月比1.3%増、輸入0.4%減</p> <p>-収益:2-4月:デル2.8倍770億円、HP5%増1870億円、アップル85%増400億円、シスコ18%減1,460億円</p> <p>-開発・投資:GM低燃費車・生産効率化1,600億円投資</p>	<p>-景気:FRB経済成長想定よりやや遅い、5月:製造業景況感53.5前月比6.9ポイント悪化</p> <p>-株価:9日1万1,952ドル6週連続下げ</p> <p>-雇用:5月:失業率9.1%0.1ポイント悪化5.4万人増</p> <p>-消費:5月:小売売上高5.4%増18ヶ月連続+、新車販売3.7%減9ヶ月ぶり-</p>	<p>(前々月)・GDPは10-12月2.8%で6期連続+。大幅な財政赤字。株価はやや上昇。企業業績10-12月迄5期二桁増好調持続。輸出は好調。失業率高水準もやや低下、個人消費上向き傾向、車販売回復傾向、住宅販売低調。投資は回復傾向。受注、生産回復傾向。高水準の失業率、財政赤字拡大が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題(前・今月)</p> <p>・GDPは1-3月1.8%で7期連続+。大幅な財政赤字。株価は低下傾向。企業業績1-3月迄5期二桁増好調持続。輸出は好調。失業率高水準高止まり。個人消費は着実に増加、車販売回復傾向、住宅販売低調。投資は回復傾向。受注、生産回復傾向</p> <p>高水準の失業率、財政赤字拡大が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題</p>
欧州	<p>-GDP:1-3月:ユーロ前期比年率3.3%、輸出増、消費、投資、独5.2%、英2%増、前期比:仏1%増、蘭0.9%増</p> <p>-財政・金融:欧州中銀0.25%利上げ政策金利年1.25%へ、ポルトガル財政赤字、金融支援要請最大9.8兆円</p> <p>-雇用:ノキア7千人削減、携帯OS外部委託、3月:失業率:ユーロ9.9%横這い、独6.3%、仏9.5%、蘭4.2%、スベ21%</p> <p>-物価:3月:消費者ユーロ2.6%、</p> <p>-消費:3月:小売売上高:ユーロ1.7%減、独0.6%減、仏3.6%増、英0.3%増、スベ9.6%減、ポーラ6.9%増:新車販売:欧州5%減、独11%増、仏6%増、伊28%減、スベ29%減</p> <p>-受注:3月:製造業:ユーロ14%増、独13%増、仏10.6%増</p> <p>-生産:鉱工業:ユーロ5.3%増、独10.9%増、仏3.3%増</p> <p>-貿易:3月:ユーロ輸出16%増、輸入17%増</p> <p>-収益:1-3月期:純益:主要企業38%増、最終益:シーメンス86%増3,400億円産業機械、フリップス32%減、ノキア1%減、Qセルズ47億円赤、VW3.8倍1,940億円、タイムラー59%増、フィアット130億円黒、営業益:ポルシェ2倍、BMW3.7倍</p>	<p>-財政・金融:欧州中銀金利据置政策金利年1.25%</p> <p>-物価:4月:消費者:英4.5%</p> <p>-雇用:4月:失業率9.9%横這い、独6.1%、スベ20.7%</p> <p>-消費:4月:新車販売:欧州4%減、独3%増5ヶ月+、蘭27.6%増、仏11%減、英7.4%減、スペイン23%減、ポーラ5.3%減</p> <p>-生産:独:原発22年までに全面停止</p>	<p>-財政・金融:ギリシャ政治不安拡大</p>	<p>(前々月)・GDP10-12月2%増、輸出主導で回復傾向。欧州株価低迷からやや回復へ。企業業績は回復傾向。輸出好調。投資低水準も回復傾向。失業率最悪の水準、車販売はマイナス幅縮小、個人消費は依然低迷。受注、生産は回復傾向。信用不安解消、景気回復、雇用確保が課題</p> <p>(前・今月)・GDP1-3月3.3%増、輸出主導で回復傾向。欧州株価横這い。企業業績は自動車中心に回復傾向。輸出好調。投資低水準も回復傾向。失業率最悪の水準、車販売はマイナス幅縮小、個人消費は依然低迷。受注、生産は回復傾向。雇用確保、信用不安の解消、景気回復が課題</p>
中東ア7	<p>-サウジアラビア:GDP11年7.5%増</p>		<p>-サウジアラビア:原発30年迄に16基24兆円投資</p> <p>-エジプト:IMF30億ドル融資</p>	<p>・主要国経済はアラブ政変で停滞気味。太陽光、原子力、電力、石化プロジェクトへの影響懸念。アラブ政変の拡大が懸念材料、イラク・アフガン情勢の安定化、景気回復が課題</p>
中南米	<p>-ブラジル:0.25%利上げ年12%へ、1-3月:GDP前期比4.2%増2四半期+、前期比:投資1.2%増、消費0.6%増</p>	<p>-ブラジル:30日主要株本年最安値、4月:鉱工業生産前月比2.1%減、新車販売4.1%増29万台、消費者物価6.5%、1-4月:新車販売3.8%増</p>	<p>-ブラジル:9日0.25%利上げ年12.25%へ</p>	<p>・ブラジル経済は景気回復もインフレ・利上げで減速傾向。メキシコ経済も回復傾向。持続的成長が課題。</p>
露東欧	<p>-ロシア:0.25%利上げ年8.25%へ、1-3月:GDP4.1%増</p>	<p>-ロシア:30日主要株本年最安値</p>	<p>-ロシア:5月:新車販売48%増23.5万台</p>	<p>・ロシアは石油価格の回復、新車販売、投資等内需中心に経済回復。持続的回復が課題。北方領土問題が懸念材料。</p>